

2005 年度苗名小屋第 1 次雪下ろし報告

2005 年度苗名小屋第 1 次雪下ろしは、2005 年 12 月 29 日(金)～31 日(日)に実施されました。以下の文章は 14 期鈴木氏の報告を編集したものです。

<小屋の積雪状況>

積雪高さは3.0～3.5mほどです。
この5～6年、雪下ろしに年2回ほど通っていますが今回が最も積雪が多いと感じました。玄関前の雪囲いにはほとんど雪が当たっていませんでした。これより降雪の当初から雪が屋根に積もり、自然落雪はほとんどなかったと思われます。

屋根の雪はオーバーハング状に恐ろしいほどにせり出していました。

小屋入りは林道にトレースがあって楽に入れました。自宅からアルミスコップを持参しましたが、使用する必要もなく玄関まで入れました。

<雪下ろし作業>

12/29 午後2時前から3名(編注: 11 期安藤、14 期鈴木、34 期村山)で雪下ろしを開始し、終了は午後5時。

石川氏、助川氏のボーイスカウト隊のうち大人の引率者等6～7名がカンテラの灯りを頼りに午後6時～7時頃、雪下ろしを実施。



12/30 午前8時から先発隊が作業を開始。午前中に後発隊の伊藤、笹倉、田村、小口の4名が小屋入りして作業開始。

午後4時、伊藤、小口、鈴木が下山しました。

1次隊の全員、張りきって作業をしました。なお、伊藤さんは東京からJRにて日帰りの雪下ろしに来てくれました。昼食時は靴を脱いでコタツに温まることもなく、食後すぐに雪下ろしを再開して小屋滞在時間の全てを雪下ろしに充てていました。

12/31 安藤、笹倉、村山、田村の4氏が雪下ろしを継続します。

造林小屋は小口、鈴木の2名で雪下ろしを完了。(ヘトヘトになりました。)
小屋の損傷は下山時までには発見されませんでした。

<午後4時現在の状況>

小屋は屋根のキャップ(帽子状)が姿を現し、6割ほどの雪下ろしが終了。

下ろした雪が地上と屋根をつないでいますので、下ろした雪を軒下から遠方へ移動させつつ雪下ろしをしています。



造林小屋は小口、鈴木の名で雪下ろしを完了。(ヘトヘトになりました。)
 小屋の損傷は下山時までには発見されませんでした。

(編注: 31 日までの補足)

東側半分は屋根まで埋まったまま。4本の斜柱のうち、3本はある程度掘ったが、1本はまったく手つかず(30期笹倉氏による)

参考資料; 2006 年豪雪記録

